

事務の管理及び執行状況 の点検・評価実施報告書

(令和2年度実績)



由利本荘市教育委員会キャラクター
「学ぶん」

令和4年2月

目 次

1	点検・評価の趣旨等	1
2	点検及び評価の概要	1
3	学識経験者の知見の活用	1
4	教育委員会の活動状況	2
	（1）会議の開催状況	
	（2）教育委員の活動状況	
	（3）計画の策定状況	
	（4）市民への情報提供の状況	
5	主要施策・事業等の実施状況と評価	8
	【学校教育部門】	
	（1）確かな学力の形成	8
	【社会教育部門】	
	（1）読書の大切さの啓発と読書活動の推進	14
	（2）生涯学習・社会教育・公民館活動の推進	17
	（3）社会教育施設の管理運営	19
	【スポーツ振興部門】	
	（1）スポーツ施設の整備充実	21
	（2）プロスポーツチームへの支援とチームとの連携によるスポーツ振興	23
	【文化振興部門】	
	（1）芸術文化の振興	25
	（2）文化財保護活動の推進	26
	【教育環境整備部門】	
	（1）学校環境適正化の推進	28
	（2）学校施設の整備	31

1 点検・評価の趣旨等

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が一部改正され、「教育委員会の責任体制の明確化」を目的として、同法第26条に「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等」が規定されました。

この規定に基づき、平成20年4月から、全ての自治体の教育委員会自らが、毎年、その教育行政事務の管理及び執行状況について、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、これを公表することが義務づけられました。

由利本荘市教育委員会においては、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たすため、平成21年度（20年度実績）から事業の点検及び評価を実施し、報告書にまとめ、議会に提出するとともに公表しております。

今年度においても、同法の趣旨を踏まえ、各教育分野の施策及び重点事業等の執行状況について点検及び評価を行い、今後、より効率的な教育行政の推進を図っていくものです。

<参考>

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検及び評価の概要

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第21条」で、教育委員会の職務権限とされている事務のほか、教育委員会で所管するすべての事務を対象としますが、点検・評価にあたっては、『由利本荘市の教育』に掲げる施策を10項目13事業に集約し、実施しております。

3 学識経験者の知見の活用

学識経験を有する者の知見の活用について、本市教育委員会では、由利本荘市社会教育委員の会会長の伊藤孝紀氏、由利本荘市PTA連合会会長の小番正和氏にご意見をいただいております。

4. 教育委員会の活動状況

(1) 会議の開催状況

期日	付 議 案 件
R2. 4. 1 (臨時会)	議案第19号 由利本荘市教育委員会の議席指定について 報 告 ・ 由利本荘市教育委員会教育長職務代理者の指定について
R2. 4. 4 (協議会)	協 議 1. 市内小中学校の始業式・入学式の取り扱いについて
R2. 4. 17 (臨時会)	議案第20号 緊急事態宣言に係る今後の対応について
R2. 4. 27 (定例会)	議案第21号 由利本荘市教育支援委員会委員の委嘱について 議案第22号 由利本荘市社会教育委員の委嘱について 議案第23号 由利本荘市鳥海山木のおもちゃ美術館基金条例の一部改正について 議案第24号 由利本荘市有形文化財の指定について 報 告 ・ 教育関係指導員の新年度配置について ・ 新型コロナウイルス感染症対策にかかる臨時校長会開催、児童生徒・教職員の対応について ・ 各種行事、総会、理事会の中止について ・ 遠藤博士記念碑建立計画について ・ 地元縫製会社からマスクの寄贈について ・ 事業・行事等の報告及び予定事項
R2. 5. 1 (臨時会)	議案第25号 新型コロナウイルス感染拡大防止に係る今後の対応について 議案第26号 職員の懲戒について
R2. 5. 27 (協議会)	協 議 1. 夏季休暇中の臨時登校について 2. プール指導及びプール開設について
R2. 5. 27 (定例会)	議案第27号 由利本荘市立小中学校エアコン運用指針について 議案第28号 由利本荘市公民館運営審議会委員の委嘱について 議案第29号 由利本荘市ボートプラザ運営委員会委員の委嘱について 議案第30号 由利本荘市図書館協議会委員の任命について 議案第31号 工事請負契約の締結について 報 告 ・ 本荘北中学校大規模改修事業について ・ 新山小学校改築事業について ・ 北部学校給食センターについて ・ 新型コロナウイルス感染症対策について

	<ul style="list-style-type: none"> ・あゆの森整備事業について ・チャレンジデー実行委員会について ・事業・行事等の報告及び予定事項
R2. 6. 2 (臨時会)	議案第 3 2 号 工事の請負契約の締結について
R2. 6. 29 (定例会)	議案第 3 3 号 由利本荘市教育委員会の議席指定について 議案第 3 4 号 由利本荘市公民館運営審議会委員の委嘱について 議案第 3 5 号 由利本荘市スポーツ推進委員の委嘱について 報 告 <ul style="list-style-type: none"> ・教育長職務代理者の指名について ・夏季休業中の臨時登校日について ・部活動指導員研修会について ・新型コロナウイルス感染症が発生した場合の対応について ・学校 I C T 機器等賃貸借構築業務・進捗状況について ・カリキュラムマネジメント検討会議について ・小友小・石沢小統合準備委員会について ・事業・行事等の報告及び予定事項
R2. 7. 30 (臨時会)	議案第 3 6 号 令和 3 年度使用中学校教科用図書の採択について
R2. 7. 30 (定例会)	議案第 3 7 号 由利本荘市立小学校統合による遠距離通学について 議案第 3 8 号 由利本荘市あゆの森公園条例の制定について 報 告 <ul style="list-style-type: none"> ・市内小中学校の修学旅行について ・矢島小改築協議について ・全国学力・学習状況調査採点委員会について ・夏季休暇中の地域行事について ・事業・行事等の報告及び予定事項
R2. 8. 28 (定例会)	議案第 3 9 号 由利本荘市あゆの森公園条例施行規則の制定について 報 告 <ul style="list-style-type: none"> ・学校での新型コロナウイルス感染症対策について ・指定管理者施設の管理状況について ・まなぶんチャレンジプログラムについて ・高嶺大学について ・まいーれ年内講演中止について ・事業・行事等の報告及び予定事項
R2. 9. 1 (臨時会)	議案第 4 0 号 職員の懲戒について

R2. 9. 28 (協議会)	協 議 1. 「由利本荘市奨学資金制度」の今後の運営について
R2. 9. 28 (定例会)	議案第41号 由利本荘市公民館運営審議会委員の委嘱について 報 告 <ul style="list-style-type: none"> ・成人式について ・少年の主張秋田県大会・中央地区予選会の結果について ・教育支援委員会について ・体育協会の法人化について ・事業・行事等の報告及び予定事項
R2. 10. 5 (臨時会)	議案第42号 工事（本荘北中学校大規模改修）変更請負契約の締結について 議案第43号 物品（学校情報機器）購入契約の締結について
R2. 10. 27 (定例会)	議案第44号 由利本荘市立学校設置条例の一部改正について 議案第45号 由利本荘市立小中学校通学区域に関する規則の一部改正について 議案第46号 由利本荘市都市公園条例の一部改正について 報 告 <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度政策経費対象事業一覧について ・石沢小学校閉校記念式典について ・冬季教職員研修会の中止について ・事業・行事等の報告及び予定事項
R2. 11. 24 (協議会)	協 議 1. 由利本荘市教育委員会の機構改革について
R2. 11. 24 (定例会)	議案第47号 由利本荘市立小中学校管理規則の一部改正について 議案第48号 本荘地域の学校再編について 議案第49号 教育予算の見積りにについて 議案第50号 令和3年度由利本荘市立小・中学校教職員人事異動方針について 報 告 <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症が発生した場合の学校の対応について ・中学生会議について ・TDK硬式野球部都市対抗野球出場について ・総合教育会議について ・市内遺跡詳細分布調査について ・ミズノ・ビクトリークリニックについて ・生涯学習講座等自主事業の開催状況について ・高橋宏幸賞感想文感想画コンクールについて

		<ul style="list-style-type: none"> ・事業・行事等の報告及び予定事項
R2. 12. 24 (定例会)	議案第 5 1 号 報 告	由利本荘市公民館条例の一部改正について <ul style="list-style-type: none"> ・主な教育委員会発注工事の状況について ・スポーツ少年団の活動状況について ・本荘地域学校再編委員会について ・学校私費会計経理検査について ・文化拠点施設整備検討委員会について ・自主事業の今後の開催について ・事業・行事等の報告及び予定事項
R3. 1. 25 (定例会)	議案第 1 号 報 告	事務の管理及び執行状況の点検・評価実績報告書 (令和元年度実績) について
	議案第 2 号 報 告	由利本荘市運動公園条例の一部改正について <ul style="list-style-type: none"> ・本荘東中学校区統合小学校の説明会について ・教育振興への寄附について ・学校での新型コロナウイルス感染拡大防止対策について ・文化交流館カダレのゆりぷらざ閉店について ・由利本荘美術展について ・木工職人会議について ・事業・行事等の報告及び予定事項
R3. 2. 19 (定例会)	協 議 報 告	1. 令和 3 年度学校閉庁日について <ul style="list-style-type: none"> ・令和 3 年度主な事業について ・新山小学校、矢島小学校改築事業について ・外部評価実施報告書について ・書籍訂正等請求事件について ・スポーツ賞表彰式について ・生涯学習講座等自主事業について ・事業・行事等の報告及び予定事項
R3. 3. 1 (臨時会)	議案第 3 号	新型コロナウイルス感染症に伴う今後の学校の対応について
R3. 3. 26 (定例会)	議案第 4 号 議案第 5 号 議案第 6 号 議案第 7 号 議案第 8 号	由利本荘市教育委員会事務局組織規則の一部改正について 由利本荘市立学校教職員辞令式規則の一部改正について 由利本荘市スポーツ推進委員の委嘱について 由利本荘市郷土資料館条例施行規則の一部改正について 令和 3 年度由利本荘市の教育について

	<p>議案第 9号 令和3年3月31日付由利本荘市教育委員会職員の 人事異動について</p> <p>議案第10号 令和3年4月1日付由利本荘市教育委員会職員の人事異動に ついて</p> <p>報 告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症にかかる学校での対応について ・小友小学校開校式について ・東京2020オリンピックパラリンピック聖火リレーに ついて ・事業・行事等の報告及び予定事項
--	--

(2) 教育委員の活動状況

①学校訪問

月 日	訪 問 校	月 日	訪 問 校
6月 5日	東由利小・東由利中	6月26日	岩城小・岩城中
6月11日	大内小	6月29日	西目小
6月12日	本荘南中	7月 2日	大内小
6月16日	本荘北中	7月 3日	石沢小
6月17日	新山小	7月 7日	尾崎小
6月18日	由利小・由利中	7月 8日	西目小
6月19日	矢島小・矢島中	7月 9日	鶴舞小
6月23日	小友小・本荘東中	7月16日	岩谷小
6月24日	鳥海小・鳥海中		
6月25日	子吉小	月 日	※秋の学校訪問は中止

②諸会議・研修等 【教育長・教育委員】

月 日	会議名等	場 所	出 席 者
5月21日	全国都市教育長協議会	山口県	中 止
5月28日	東北都市教育長会議		書面審議
6月15日	秋田県都市教育長会議		書面審議
8月21日	秋田県市町村教育委員会連合会 第1回定期総会		書面審議
11月5日	B&G全国教育長会議	東京/笹川記念館	教 育 長
1月22日	B&G全国サミット		中 止

(3) 計画の策定

「由利本荘市教育の振興に関する施策の大綱〈令和2～6年度〉」 令和2年2月策定

「第4次由利本荘市生涯学習推進・社会教育中期計画〈令和2～6年度〉」

令和2年3月策定

「由利本荘市スポーツ振興計画〈平成28～令和6年度〉」

平成28年9月策定

「由利本荘市第二次学校環境適正化基本計画」

平成31年3月策定

(4) 市民への情報提供の状況

- ・市広報及び市ホームページを活用して情報を提供している。

5. 主要施策・事業等の実施状況と評価

		分 野	学校教育部門
項 目	(1) 確かな学力の形成	担当課	学校教育課
点検・評価対象事業名	①諸調査の分析及び研修会		
事業の目的	<p>○諸調査の分析を充実させることで児童生徒の実態を把握し、授業改善を図ったり課題に対応した効果的な手立てを講じたりすることができるようにする。</p> <p>○いじめの早期発見・即時対応や、不登校又はその傾向のある児童生徒への支援など、生徒指導上の諸課題への対応の充実を図る。</p>		
事業の実施状況	<p>○学力調査の分析・訪問指導等</p> <p>○児童生徒質問紙等の分析</p> <p>○学校生活アンケート、不登校実態調査等の実施</p>		
点検評価及び説明	<p><input type="checkbox"/>目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/>ほぼ目標どおり</p> <p><input type="checkbox"/>目標をやや下まわる <input type="checkbox"/>目標を大幅に下まわる</p>		
	<p>○学力調査の分析・訪問指導等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査（小6・中3対象）採点委員会の開催（7月30日、31日） ・秋田県学習状況調査（小4～中2対象）採点委員会の開催（12月4日、7日） 小・中学校の教員が集まって採点し、各学年の成果と課題について協議した。また、協議内容については各校へ情報提供し、授業改善のために活用した。 ・総合学力調査（小5～中3対象）の実施（5～6月）とWeb分析システムの活用システムを活用して基礎・基本の定着や知識・技能を活用する力について分析し、成果と課題を検証した。また、事後指導には、児童生徒個々の実態に応じた復習シート等を活用した。 ・市授業力向上訪問等の実施（各校の希望日6月～2月：22回） 指導主事が各校を訪問し、授業研究会や研修会を通して、児童生徒の主体的な活動を促し、児童生徒同士が関わり合いながら学びを確かなものにする手立てなどについて助言した。 <p>○児童生徒質問紙等の分析</p> <p>学習への取組、生活習慣、地域への関心などに対する意識を分析し、その結果を市のホームページに掲載したほか、各学校の学校報に掲載し、保護者や地域住民に広く周知した。</p> <p>○学校生活アンケート、不登校実態調査等の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校生活アンケート（7月・11月）の実施 		

いじめに関する記述についてはそのすべてに即時対応し、指導や見守りを継続している。

・不登校児童生徒実態調査（7月・12月）の実施

不登校又はその傾向のある児童生徒の最新の実態を把握し、各校に対して適応指導教室やその他関係諸機関との連携を働きかけるなど、指導の充実を図っている。

今後の課題及び改善策・方向性

○学力調査の分析結果について周知を図るとともに、「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」を一層進めていく必要がある。また、意識調査の結果を学校での指導に生かし、家庭や地域との連携を一層深めていくことが大切である。

○各校における児童生徒の居場所づくり・絆づくりの取組や、家庭や関係諸機関との連携が一層充実するような働きかけを継続していく。

学識経験者の意見

・各校の教員間で試験の成果、課題について協議し、その協議内容を共有し授業改善に活かしていることを高く評価したい。

・学習結果が評価される全国、県、総合学力調査を受けることで子どもたちの自信や意欲をはかることができる。目標点数を子どもたちの目に見える状態で定め、予習ノートの活用等で保護者も一緒に児童生徒と関わりながら、学習状況調査に臨めるようにしてはどうか。また、学習の動機付けとして、例えば、がんばりの見られる上位の児童生徒に賞状等を与えるなど、意欲の向上を促すのはどうか。

・「いじめ」の疑いについて即時対応しており、指導や見守りなど、今後も継続していただきたい。不登校児童生徒への対応も、最新の実態把握を行い、適応指導教室など関係諸機関と連携して指導しており、敬意を表するとともに今後も継続して活動してほしい。

・不登校やいじめに関する問題は、地域の問題でもある。過去の事例など学校や教育委員会が保護者と一緒に考える場を持ち、性格や行動など子どもが抱えている状況を共有することで、予防につながるのではないかと考える。

行った。また、幼児通級指導教室（さくら教室）では、支援を必要とする子どもに対し、実態に応じて、小学校入学後の活動につながる個別指導を実施した。

小学校から中学校、中学校から高校、特別支援学校への引継ぎを確実にを行うために、学校間連携コーディネーターを配置した。児童生徒や保護者と面談をすることで、進路に関する情報を提供したり助言したりした。また『引継ぎシート』を活用した学校間の円滑な引継ぎを行った。

○特別支援教育支援員の配置

各学校の実情や児童生徒の教育的ニーズに応じた学習、生活、医療面での支援をする特別支援教育支援員の配置を行った。

4月に行われた県主催の研修会に同行し、研修の様子や参加者の考えを把握した。また、7月に市主催の研修会を開催し、障害の特性に応じた支援について考え、理解を深める機会とした。

今後の課題及び改善策・方向性

○「就学までの流れ」のリーフレットを作成し、園の職員や保護者に配布することで、見通しをもってもらうことができた。より分かりやすいものに改訂し活用していく。

○特別支援教育支援員の配置について、対象児童生徒が年々多くなっており、希望どおりの配置ができない状況にある。学校の実情や児童生徒の実態をより細かく把握し、自立に向けた支援ができるように、配置の工夫や支援方法を検討していく。

学識経験者の意見

- ・ 幼稚園や保育所、認定こども園などから小学校への円滑な就学に向けて、就学支援員を配置し、入学後に特別な支援を必要とする園児の小学校での教育相談に同行し、円滑な引継ぎを行ったことは高く評価したい。
- ・ 幼児通級指導教室（さくら教室）では、支援を必要とする子どもに対し、実態に応じて、小学校に入学後の活動につながる個別指導を実施したことも高く評価する。
- ・ 非常に専門性の高い支援であると思う。対象となる児童生徒が年々増加していることに驚かされたが、一人一人の子どもの持つすばらしい特長を活かし、就労へ導いていただければと思う。

		分野	学校教育部門
項目	(1) 確かな学力の形成	担当課	学校教育課
点検・評価対象事業名	③学校のICT環境整備		
事業の目的	<p>○国のGIGAスクール構想により、児童生徒一人一台のタブレット端末の整備が進められたことに伴い、本市においても、学びの個別化、主体的な学びの促進等、これからの学校教育で重視される学びの形の実現に向け、端末等の整備、活用に向けた環境面の充実など、ICT環境の整備を推進していく。</p>		
事業の実施状況	<p>○タブレット端末等の機器類の整備、使用する際のルールの策定及び保護者への周知等、使用開始に向けた環境整備</p> <p>○プロジェクター等の関連機器の充実</p>		
点検評価及び説明	<p><input type="checkbox"/>目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/>ほぼ目標どおり</p> <p><input type="checkbox"/>目標をやや下まわる <input type="checkbox"/>目標を大幅に下まわる</p>		
	<p>○GIGAスクール構想によるタブレット端末の整備</p> <p>市内の全ての学校に、児童生徒一人一台のタブレット端末の整備を完了した。端末を充電、保管する充電保管庫について、各校の実情に応じて適切な場所を選定し、設置を完了した。</p> <p>タブレット端末導入の目的や活用場面のイメージについて保護者に周知したり実際の活用に向けたルールの策定したりする作業を終えた。</p> <p>○プロジェクター等の関連機器の整備</p> <p>各学校の普通教室及び特別教室について、電子黒板機能を備えたプロジェクターや書画カメラの整備を行った。教材やノート、パソコンの画面などを映し出し、児童生徒が視覚的に捉えやすくする目的で、全ての学校において日常的に活用されている。今後は、タブレット端末の無線接続など、幅広い活用が考えられる。</p> <p>○ドローンの導入と活用</p> <p>市内各校に、学校行事等を撮影することができるようにドローンを配付した。例えば、学校行事や生徒会活動等の様子を撮影し、発信するなどといった面での活用が期待される。</p>		
今後の課題及び改善策・方向性	<p>○機器トラブルへの対応や操作に関する助言等、教師のICT活用をサポートするICT支援員を雇用することで、教師の負担軽減につながるるとともに、端末のより一層の効果的な活用が可能となる。</p>		

○児童生徒個々に応じた学習に対応できるというタブレット端末の特性を生かすため、一人一人に最適化された教材（デジタルドリルなど）の導入を検討する必要がある。

○家庭へ持ち帰っての活用を想定したセキュリティ面等の環境整備が必要である。

学識経験者の意見

- ・市内全ての学校に児童生徒一人一台のタブレット端末の整備や、教室等実情に配慮し充電保管庫の設置も完了しており、授業に活用できる環境が整ったことはよかった。今後はICTを活用した学習の充実に努めてほしい。
- ・これからの児童生徒に求められる能力の一つであり、関連する環境整備を行うことで保護者も安心してタブレット端末と一緒に使用できると思う。ただし、家庭へ持ち帰って活用することについては、各家庭毎に聞き取りをしていただき、家庭の事情や予測不能のトラブルへの対応などにも配慮してほしい。
- ・タブレット端末使用による、子どもの視力低下や読み書きなど鉛筆を使った学習の不足などが心配される。
- ・学びの個別化は素晴らしいことだが、子どもたちが便利な道具に「使われない」ように道徳などの授業を通して、児童生徒に「心の在り方」を指導してほしい。

		分 野	社会教育部門
項 目	(1) 読書の大切さの啓発と 読書活動の推進	担当課	生涯学習課
点検・評価対象事業名	子どもの読書活動推進事業		
事業の目的	<p>○子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるために、家庭、地域、保育園、幼稚園や学校と連携し相互に協力を図りながら市民全体への啓発活動に取り組む。</p> <p>○「由利本荘市子どもの読書活動推進会議」と連携し、全ての地域での読み聞かせ事業を展開しながら子ども読書、親子読書の活動を推進する。</p>		
事業の実施状況	<p>○会議・研修会等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年6月2日 企画部会 ・令和2年8月27日 研修会打合会① ・令和2年10月6日 研修会打合会② ・令和3年2月16日 拡大企画部会 <p>☆推進会議、広報部会等を開催せず書面を送付。</p> <p>○事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年10月10日 おはなし研修会 ・令和3年2月 「心にとどけスマイル便第14号」発行 「スマイルひろがり便第5号」発行 <p>○読み聞かせボランティア派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年9月28日 (石脇西保育園) 11月19日 (下川大内保育園) 11月20日 (子吉保育園) 12月7日 (石脇北保育園) 12月15日 (石沢保育園) ・令和3年1月14日 (ゆり保育園) 1月15日 (ゆり保育園) 1月20日 (石脇東保育園) 1月28日 (本荘幼稚園) 2月19日 (中央保育園) <p>○図書館を使った調べる学習コンクール関連事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年11月11日～11月25日 図書館を使った調べる学習コンクール。 (調べる学習コンクール関連講座の実施を見合わせる) 		

・令和2年11月13日 第3回由利本荘市調べる学習コンクール表彰式（岩城小）
上位入賞者が在校する岩城小、矢島小で表彰式を実施。

点検評価及び説明	<input type="checkbox"/> 目標を上回る	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり
	<input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる	<input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる

- コロナ禍の中ではあったが、行事等の回数を見直し規模を縮小して実施するなど各部会の活動は積極的になされており、成果も上がっている。
- 「読み聞かせ研修会」と「おはなしフェスティバル」を同日開催とし、時間短縮参加者限定で「おはなし研修会」として実施した。中央図書館（志村千寿氏）を講師として「著作権に関する研修」と読み聞かせボランティア団体による実践発表を行い、読み聞かせ技術の向上などについて学んだ。新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮した読み聞かせの実施の仕方などについて、各団体の取組状況について情報交換を行った。
- 保護者向けチラシ「心にとどけスマイル便第14号」及び、子どもの読書活動推進会議広報誌として「スマイルひろがり便第5号」を発行した。
- 「第3回由利本荘市図書館を使った調べる学習コンクール」を開催した。
（応募者15点、全国コンクール推薦2点）

今後の課題及び改善策・方向性

- 新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮し、会長と各部の部長等で構成する企画部会（拡大企画部会）で推進会議全体の方向性や活動の改善点などについての協議を行った。会議の回数や参加人数を制限し、協議内容等については書面議決とした。引き続き、年間計画やボランティア団体間の情報共有を行いながら読書活動の推進に努めると共に読み聞かせの活動団体等が図書館、保育園・幼稚園、学校、地域と連携して活動ができるよう支援が必要である。
- 市子どもの読書活動推進会議が実施している研修会については、新型コロナウイルス感染拡大状況に留意しながら、可能な範囲で子どもたちに関わる現場の保育士の方々の参加も呼びかけたい。また、若い世代の参加についても配慮したい。
- 各読み聞かせボランティア団体におけるボランティア数減少と高齢化が顕著になりつつある。子どもの読書推進会議広報誌の配布先と配布部数を見直すなどして各ボランティア団体の活動等について広く周知するようにしたい。
- 「図書館を使った調べる学習コンクール」については、審査基準など応募に必要な要件や調べ学習のコツ、効果的な講座の開催など、これまで以上に早い時期から学校等に向けて十分な周知活動を行う必要がある。

学識経験者の意見

- ・読み聞かせボランティアの減少や高齢化が心配である。活動を紹介する広報誌をうまく活用し、活動の意義について周知し、是非とも運営を維持してほしい。
- ・調べることに図書館を活用してもらうアイデアはすばらしく、コンクールで全国推薦が2点あったことは評価したい。調べる、学ぶなど「身につける」力を養うため有効であり、今後も継続してほしい。
- ・小学校就学前の幼児への読み聞かせは大切な事です。子どもたちが興味を持ち、読みたいと思わせる図書の充実をお願いします。
- ・子どもたちが、意欲を持ち読書活動できる場所をもっと増やしていただきたい。また、「ゆりほんテレビ」で本市にゆかりのある昔話を読み聞かせするような番組も検討していただきたい。

		分 野	社会教育部門
項 目	(2) 生涯学習・社会教育・ 公民館活動の推進	担当課	生涯学習課
点検・評価対象事業名	学社連携・融合の推進事業		
事業の目的	<p>○地域社会全体で子どもたちを育むことを目的に、子どもの学習支援を中心に各機関・団体・学校等との連携を深め、ボランティア等地域の人材の活用を積極的に図りながら地域の教育力の向上を図る。</p>		
事業の実施状況	<p>○【継続事業】放課後子ども教室（文部科学省補助事業：国・県・市各1/3負担） 放課後の子どもの安心・安全な居場所として、学習を中心とした活動を実施。 市内小学校14校（14教室）のうち、新型コロナウイルスの影響により11校（11教室）で開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・延べ開催回数 866回、延べ参加児童数 36817人、延べスタッフ数 3434人 ・事業費総額 6,439千円 <p>○【継続事業】学校支援活動（文部科学省補助事業：国・県・市各1/3負担）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習支援、環境整備、安全確保、図書ボランティア、学校行事などに地域住民が積極的に参画し学校の活動を支援。 ・中学校単位で10本部を設置し、市全小中学校（小学校14校、中学校10校）が対象 ・活動時間数 503時間、延べボランティア人数 2515人 ・事業費総額 585千円 <p>○【継続事業】地域未来塾（文部科学省補助事業：国・県・市各1/3負担）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民や大学生の協力による無料学習支援の場づくり。 ・市内全中学校生徒（中学校10校）を対象。 ・活動日数 16日、希望者数 24人、延べ参加生徒数 149人 ・事業費総額 362千円 		
点検評価及び説明	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下まわる <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる		
	<p>○放課後子ども教室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響により開催を見送った教室や、開始時期が遅れた教室もあったが、14教室中11教室で開催することが出来た。コロナ禍でスタッフが感染対策を徹底しながら、放課後の安心安全な居場所を確保することができた。 		

<p>○学校支援活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響により、活動時間が大幅に減ったが、学校の要請を受け地域コーディネーターと学校支援ボランティアが連携し、学習環境整備、学校行事等を支援できており、認知度も高くなっている。 <p>○地域未来塾</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「基礎学力の定着」、「学ぶ喜びの醸成」など様々な喜びのある「学び舎」を目指した。新型コロナウイルスの影響により開催回数と申込希望者数も前年度を大幅に下回ったが、事後アンケートでは「指導者の配置」「学習に集中できる」等好評であり、評価が高い事業となっている。 	
<p>今後の課題及び改善策・方向性</p>	
<p>○放課後子ども教室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域により活動時間、内容の差がある。また、スタッフの高齢化等による後継者不足が進んでいる。今後は地域人材の確保と育成が課題である。 <p>○学校支援活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ・スクールとのより一層の連携が重要。多数の地域住民に参画いただくため、住民意識の醸成、意欲ある活動者の確保が必要となる。 <p>○地域未来塾</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内全地域を対象としているが、地域毎に申込数にばらつきがあり、全ての地域の生徒が参加できるような体制が必要となる 	
<p>学識経験者の意見</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・この3つの事業は、今後も是非継続してほしい。 ・3つの事業は地域の教育力の向上を図る上で非常に大事な事業であり、地域人材や参画者の確保に努め、長く継続する体制づくりを進めてほしい。 ・地域未来塾の大学生による学習支援を、可能であれば中学校の学年全員向けに行ってほしい。中学生にとって大学生からの指導は新鮮で、学習意欲の向上につながるのではないか。 	

		分野	社会教育部門
項目	(3) 社会教育施設の管理運営	担当課	生涯学習課
点検・評価対象事業名	社会教育関係施設の整備事業		
事業の目的	<p>○市民にとって身近な公民館等、社会教育活動の拠点施設の維持管理と整備を図り施設の利用促進に努める。</p>		
事業の実施状況	<p>○ウッディホールこだま研修室エアコン取替修繕 2,607千円 ○日新館空調設備更新工事69,025千円(設計委託料1,925千円、工事費67,100千円) ○岩城会館日本海の間照明器具交換修繕 4,642千円 ○西目公民館変圧器取替修繕 6,490千円 ○友水公園街路灯取替修繕 2,145千円 ○文化交流館管理運営費(指定管理料、修繕料等) 179,188千円 ○木のおもちゃ美術館費(指定管理委託料、あゆの森整備工事、あゆの森木製テラス等製作委託、ゆりてつてんぼうだい製作委託等) 52,644千円 ○上記のほか、修繕多数実施。</p>		
点検評価及び説明	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる		
<p>○老朽化した社会教育施設の補修・改修等を実施することにより、利用者の安全と快適性の確保など、利用者サービスの向上に資することができた。</p> <p>○多世代交流の木育拠点施設である「鳥海山木のおもちゃ美術館」は、屋外に「ゆりてつてんぼうだい」や「すぎのきテラス」を備えた「あゆの森公園」を整備した。</p> <p>○各施設とも、新型コロナウイルス感染症の影響により利用者数、来館者数は減少したが、感染症対策を十分に行いながら安全に運営することができた。</p>			
今後の課題及び改善策・方向性	<p>○各施設において、経年劣化により大規模な修繕が必要となってきたことから緊急性や市民サービス向上を考慮しながら対応していく。修繕については、年次計画などを策定するなど、複数年度の修繕計画も考えていく。</p> <p>○指定管理施設については、指定管理者との連携を図りながら、新型コロナウイルスの対策を引き続き行いながら、効率的・効果的・安全な施設の運営に努める。</p>		

学識経験者の意見

- ・経年劣化が見られる施設もあるようだが、市民サービスの充実のためにも、優先度をつけるなどして計画的な修繕に努め、利用に不便が生じないようお願いしたい。
- ・市民にとってなくてはならない公共の場であり、観光・コミュニティ・防災など多くの用途を兼ね備えた拠点施設の整備を是非お願いします。市営や指定管理者制度など運営形態は利用頻度等に応じて分かれているが、現在のコロナ禍でも感染症対策を講じ、多くの来館者が安全に利用できるよう施設運営を引き続きお願いしたい。

		分 野	スポーツ振興部門
項 目	(1) スポーツ施設の整備充 実	担当課	スポーツ課
点検・評価対象事業名	既存体育施設の改修整備等		
事業の目的	○スポーツ・レクリエーション活動の拠点となるスポーツ施設の整備を図り、市民に運動の場を提供し、その有効利用を促進する。		
事業の実施状況	<p>○本荘地域 19,800千円 遊泳館真空ヒーター改修事業 9,053千円 本荘由利総合運動公園陸上競技場公認更新整備事業 (円盤・ハンマー投げ用囲い購入及び公認検定の実施)</p> <p>○大内地域 22,869千円 B & G 大内海洋センタープール棟改修事業</p> <p>○東由利地域 13,200千円 大平スキー場リフト更新事業</p> <p>○西目地域 225,500千円 西目カントリーパークサッカー場人工芝改修事業 (サッカー場の芝を天然芝から人工芝へ全面張り替え)</p> <p>○鳥海地域 49,966千円 鳥海球場電光掲示板改修事業 (電光掲示板の得点板不鮮明部分の改修) 8,656千円 鳥海トレーニングセンター改修事業 (アリーナ照明LED化及び駐車場舗装補修)</p> <p>○体育施設のトイレ洋式化修繕 14,747千円 (本荘由利総合運動公園陸上競技場、矢島多目的運動広 場、サンスポーツランド岩城野球場、松本体育館等 計10施設)</p> <p>○武道館の空調整備 12,826千円 (由利武道館及び矢島格技場への空調設置)</p>		
点検評価及び説明	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる		
○経年劣化等により改修や修繕が必要とされていた施設や設備の改修を年次計画で行い安全性と利便性を進めた。			
○コロナ交付金を活用し、当初計画より多くの施設を改修整備することができた。			
今後の課題及び改善策・方向性	○平成30年に由利本荘総合防災公園「ナイスアリーナ」がオープンし、「ナイスアリーナ」を拠点に市のスポーツ振興を推進していくことにしているが、地域の体育施設はそこに住む住民のスポーツ活動拠点となっていることから、順次整備を進めていきたい。		

○各地域の体育施設は、老朽化等により改修や修繕費用が年々増加してきている。一方で交付税の削減により更に財政的に厳しく予算措置が困難になってきているため有効な助成事業等を活用しつつ、今後は緊急性や安全性、利用頻度の観点等から修繕を必要とする施設の優先順位による整備が求められてくる。

学識経験者の意見

- ・ ナイスアリーナは市のスポーツ振興の拠点であり、市のシンボリックな施設として活用が図られていることはよいが、地域にある施設は老朽化が目立ち、維持管理に多額の費用が生じているようだ。厳しい財政状況ではあるが、優先順位による計画的な修繕をお願いしたい。
- ・ 「スポーツ立市」のもと、市民が運動できる場を提供していただき感謝します。地域毎に盛んなスポーツが異なることで地域の特色にもなっていますので、子どもから年配の方まで、楽しんで利用できるよう維持管理をお願いします。
- ・ 既存施設への愛称を公募するなど、施設に愛着やインパクトを与え利用促進につなげてはどうか。

		分 野	スポーツ振興部門
項 目	(2) プロスポーツチームへの支援とチームとの連携によるスポーツ振興	担当課	スポーツ課
点検・評価対象事業名	プロスポーツを通じたスポーツ振興事業		
事業の目的	<p>○ホームタウンとして、ブラウブリッツ秋田並びに秋田ノーザンハピネッツを支援するとともに、チームと連携して市民にプロスポーツ選手とのふれあいの場を提供し、夢を持ってスポーツに親しむことができる態勢を整えるとともに、スポーツを通して地域の賑わいづくりや活性化を図る。</p> <p>令和2年度はコロナ禍であることから状況を見据えた事業展開とする。</p>		
事業の実施状況	<p>○プロサッカーチーム「ブラウブリッツ秋田」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピッチバナー広告料として50万円を支出し支援。 ・幼稚園、保育園から小学3年生までを対象とした無料サッカースクールの開催 (6月21日) ・夏休み前に市内の小学生にブラウブリッツ秋田応援うちわの配布 ・ホームタウンサンクスデー開催による市民の無料招待 (11月22日) <p>○プロバスケットボールチーム「秋田ノーザンハピネッツ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレシーズンゲーム開催に伴う運営協力 (9月21日) ・プレシーズンゲームへ市内スポーツ少年団員を招待 		
点検評価及び説明	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる		
	<p>○市としてプロチームを支援することで、市民のスポーツへの関心が高まるほか、プロチームから市民の試合招待等の還元が期待できる。また、プロチームから直接指導を受けることで、子どもたちが夢を持ちスポーツに取り組むようになり、目標設定や競技力向上に繋がる。なお、令和2年度は、秋田ノーザンハピネッツのバスケクリニックがコロナ禍の影響により中止となった。</p>		
今後の課題及び改善策・方向性	<p>○ブラウブリッツ秋田：H26からホームゲーム開催が全て秋田市会場となっている。R3からJ2に昇格することで、市民の関心が高まっており、引き続きスクール等を開催してもらえるよう継続して支援していきたい。</p> <p>○秋田ノーザンハピネッツ：Bリーグホームゲームが引き続き由利本荘市で開催してもらえるよう、チームと連携を密にしながら誘致を進めていく。</p>		

※今後、Wリーグに参戦するアランマーレ秋田についても支援と本市スポーツ振興への協力依頼を進めていきたい。

学識経験者の意見

- ・プロ選手から直接指導を受けられることは、子どもたちが大きな夢を持ち将来に向かってスポーツに取り組むよい機会であり、競技力の向上につながっている。継続し取り組んでいただきたい事業であり、高く評価したい。
- ・子どもたちに夢を与える事業のひとつであり、会場で観覧だけでなく、ICTを活用し、より多くの子どもたちが恩恵を享受できるよう配信するなども検討していただければと思う。他種目のプロスポーツについても誘致を期待します。

		分 野	文化振興部門
項 目	(1) 芸術文化の振興	担当課	生涯学習課
点検・評価対象事業名	第16回由利本荘美術展		
事業の目的	<p>○市民が様々な分野の芸術文化に出会い鑑賞できるよう、その機会を創出する。</p> <p>○由利本荘圏域の文化向上のため、美術作家または愛好者のレベルアップを図り、圏域住民の芸術作品への関心を高めることを目的に開催する。</p>		
事業の実施状況	<p>○由利本荘美術展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催場所：カダーレ ギャラリー1+2+3 ・開催期日：令和3年1月30日(土)～2月3日(水) ・出品者数(作品数)：117名 絵画25、書道30、工芸26、写真36 ・期間中入場者数：1,002人 		
点検評価及び説明	<p><input type="checkbox"/>目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/>ほぼ目標どおり</p> <p><input type="checkbox"/>目標をやや下まわる <input type="checkbox"/>目標を大幅に下まわる</p> <p>○絵画・書道・工芸・写真の各部門が一堂に会し、由利本荘圏域住民が多様な芸術と出会う機会となった。また、個々の作品の質が高く、総じて展覧会としての充実が見られたことから、来場者からも好評を得た。</p> <p>○各部門からの出品者・作品数は、ほぼ同規模で推移している。</p> <p>○新人の発掘や登用を行い、同時に作品発表の機会を提供した。</p> <p>○実行委員会による、市民主導での開催により、創作活動意識の高揚が図られた。</p>		
今後の課題及び改善策・方向性	<p>○継続開催する。</p> <p>○部門を越えた作家同士の交流の場となることから、地域を拠点に活躍する新たな芸術活動や人材育成が期待できる。</p> <p>○引き続き新人の発掘や登用を図る。</p> <p>○更に魅力アップを図るための企画を検討、提案していく。</p>		
学識経験者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・由利本荘圏域において、作品の発表と鑑賞という2つの機会創出に貢献している素晴らしい取組である。来場者からも好評を得ており、地域の芸術活動の充実や新人育成に役立っており、今後も継続した取組を期待したい。 ・由利本荘市の大切な文化であり、次世代を担う人材育成を期待します。可能であれば、作品等を学校に貸出しするなど児童生徒の目に触れる機会を増やすことで創作意欲の高揚と質の向上をはかってはどうか。 		

		分野	文化振興部門
項目	(2) 文化財保護活動の推進	担当課	生涯学習課
点検・評価対象事業名	①民俗芸能団体育成交付金事業		
事業の目的	○市内に伝承されてきた貴重な民俗・伝統芸能を後世に確実に継承していくため、民俗芸能団体が実施する保存継承活動を支援することにより、自主的・自発的に伝承活動を実施できる団体の育成を図る。		
事業の実施状況	<p>○交付額：397,000円（予算額500,000円） 交付条件：事業対象経費の1/2（10万円上限）</p> <p>○交付団体：5団体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・猿倉人形芝居 木内勇吉一座：袖幕新調（交付額：88,000円） ・新沢八幡神社獅子舞講：用具修理・購入（交付額：100,000円） ・赤平獅子舞保存会：用具新調（交付額：45,000円） ・本海獅子舞番楽前ノ沢講中：用具修理・購入（交付額：100,000円） ・天神あやとり保存会：用具修理（交付額：64,000円） 		
点検評価及び説明	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる		
	<p>○長年使用して劣化した用具を修理・新調し整備していくことで、次代を担う会員がより良い環境下で伝承活動を行うことができる。</p> <p>○団体の活動がより円滑に運営できるとともに、行政と団体が一体となり文化財を保護しようとする意識が醸成される。</p>		
今後の課題及び改善策・方向性	<p>○コロナ禍により発表機会が減少し活動も制限されたことで、継承意欲の衰退が懸念される。団体の継承意欲の維持・向上のため、継続的に事業を実施していく。</p> <p>○団体から要望の聞き取りを行い、必要に応じた円滑な事業運営を行う。</p>		
学識経験者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・この由利本荘市内に数百年もの長い間伝承されてきた、貴重な民俗・伝統芸能を後世に確実に継承していくため、これまでの使用で劣化した用具を修理、新調し整備する必要がある。交付金補助事業を継続し、団体の継承意欲の醸成に努めていただきたい。また、自主的、自発的に伝承活動を行う団体の育成が図られており、高く評価したい。 ・貴重な文化の伝承活動を支える事業である。修繕費用の支援だけでなく修理できる地元業者の育成にも力をいれてほしい。 		

		分 野	文化振興部門
項 目	(2) 文化財保護活動の推進	担当課	生涯学習課
点検・評価対象事業名	②歴史文化拠点施設整備事業		
事業の目的	<p>○老朽化が進み、資料の保存・活用を円滑に行う上で少なからず問題点を抱えている各資料館の現状を見据えた、本市全体を統括する歴史文化拠点施設のあり方について、基本構想策定を目指し、有識者による委員会により具体的な検討を進める。</p> <p>○教育・観光・地域振興に結びつく「由利本荘市の特徴を活かした誘客施設」を目指すとともに、事業の中で、既存資料館の今後のあり方についても検討する。</p>		
事業の実施状況	<p>○市内資料館等6施設の現況視察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年10月2日（金） 視察先 大内歴史民俗資料館・出羽伝承館・岩城歴史民俗資料館 出席者 委員7名、助言者2名、事務局6名 ・令和2年12月2日（水） 視察先 本荘郷土資料館・矢島郷土文化保存伝承施設・八塩生涯学習センター 出席者 委員7名、助言者2名、事務局6名 		
点検評価及び説明	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる		
○既存資料館等施設の現状を確認し、基本計画策定に向けた拠点施設のあり方及び設備、運営ならびに既存施設の課題についての意見を得た。			
今後の課題及び改善策・方向性	○本市に相応しい新たな拠点施設のあり方を検討し、令和3年度には「由利本荘市歴史文化拠点施設整備基本方針」の策定を目指す。		
学識経験者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の資料館等6施設の現況から判断すると、「歴史文化拠点施設」の整備は必要でその整備方針策定を目指すことは評価できる。引き続き、文化財保護活動の推進に努めてほしい。 ・各地域にある施設が老朽化し、整備しなければならない状況であると理解している。新たな拠点は、誘客がはかれるよう交通の便や歴史的な経緯にも配慮し設置場所等が検討されるよう期待する。 		

		分 野	教育環境整備部門
項 目	(1) 学校環境適正化の推進	担当課	教育総務課
点検・評価対象事業名	「由利本荘市第二次学校環境適正化基本計画」の推進		
事業の目的	<p>○児童規模において、100人以下の小規模校から800人規模の大規模校まで6校で構成されている本荘地域において、児童の減少が今後も続き、複式学級導入の学校も複数生じてくる可能性を重く捉え、学校間の教育環境の格差を解消し、文部科学省が示している適正規模・適正配置に基づいた均衡ある学校を構築するため、「第二次学校環境適正化基本計画」を平成31年3月に策定し、本荘地域の適正な学校環境の推進に向け、その取組を進める。</p>		
事業の実施状況	<p>○平成31年3月4日 ・教育委員会 臨時会 「第二次学校環境適正化基本計画」承認。</p> <p>○周知活動 平成31年 1月15日号 『広報ゆりほんじょう』掲載 平成31年 1月～2月 各小学校区で説明会を開催（計5回） 令和 元年 5月17日 本荘地域町内会長協議会で説明 令和 元年 7月 5日 石沢小PTA、小友小PTAで説明</p> <p>○小友小・石沢小統合に向けた取組 令和元年 8月19日 ・教育委員会 定例会「小友小・石沢小の統合及び時期について」承認 ・小友小学校・石沢小学校統合準備委員会設置要綱施行 令和元年10月30日「第1回 小友小・石沢小統合準備委員会」 構 成：学校運営協議会・地域振興会・町内会長協議会 集落支援員・PTA・学校 19名 委員長：小友小学校学校運営協議会会長 小友地域振興会会長 須田純悦</p> <p>令和元年12月19日「第2回 小友小・石沢小統合準備委員会」 令和2年 1月30日「第3回 小友小・石沢小統合準備委員会」 令和2年 2月18日 小友・石沢スポーツ少年団の体制に係る協議 令和2年 6月 5日 統合後の通学方法に係る意見交換会 令和2年 7月20日「第4回 小友小・石沢小統合準備委員会」 令和2年11月 3日「石沢小学校閉校記念式典」 令和2年12月22日「第5回 小友小・石沢小統合準備委員会」</p>		

令和3年 2月26日「第6回 小友小・石沢小統合準備委員会」

【結果】

統合年月：令和3年4月 使用校舎 ：小友小学校校舎
校名：「小友小学校」 校歌・校章：小友小学校の校歌・校章
※児童の通学には、路線バス・スクールバスを併用する。
※現在石沢小学校で行っている、石沢地域の伝統・文化を活かした
取組を小友小学校に引き継ぐ。

○統合小学校建設に向けた取組

令和元年10月31日 「本荘地域学校再編委員会設置要綱」施行

令和元年12月 2日 「第1回 本荘地域学校再編委員会」

◆構成：学識者・CS・PTA・学校・学校運営協議会・振興会・町内会長
14名

◆委員長：秋田県立大学システム科学技術学部長 松本真一

令和2年 2月20日 「第2回 本荘地域学校再編委員会」

令和2年 2月27日 「教育委員会 協議会」

令和2年 3月 9日 市議会「教育民生常任委員会」にて中間報告

令和2年10月 6日 「第3回 本荘地域学校再編委員会」

令和2年11月11日 「第4回 本荘地域学校再編委員会」

令和2年11月24日 「教育委員会 定例会」で承認・決定

【学校再編委員会報告】

統合小学校の建設予定地は、本荘東中学校の市道松街道線を挟んだ西側とする。

通学区域は、小・中1ユニットの視点、四校からの通学面など総合的に考え、現本荘東中学校の通学区域を適用する。

点検評価及び説明	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標をやや下まわる	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標どおり <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下まわる
<p>○「第二次学校環境適正化基本計画」に従い、小友小・石沢小の統合に向け、学識者や地域、学校、PTA等で組織する「統合準備委員会」を組織し、地域との協議を丁寧に重ね、PTAを含め住民の意見を反映した結果に結びつけることができた。地域の理解を得ながら当初目標を達成することができた成果は大きい。</p> <p>○令和元年度設置した「本荘地域学校再編委員会」においては、学識者を含む14名の委員が、それぞれの立場から意見交換がなされ、具体の統合小学校の建設予定地について全会一致で絞り込むことができた。通学区域についても、路線バスの有効な活用やスクールバスの運行範囲など地域事情を汲んだ形で決定することができた。</p>		
今後の課題及び改善策・方向性	<p>○通学区域の決定まで協議が進み、本荘東中学校区統合小学校については建設予定地も決定済みである。本荘南中学校区統合小学校の位置を含め、先ずは、校名、校歌、校章について学校再編委員会の下に設けたふたつの準備委員会で協議を深め、地域の意向の取りまとめに努める必要がある。</p>	
学識経験者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・本荘東中学校区については新たな小学校建設地まで決定済みであるが、本荘南中学校区の協議はこれからであり、両校とも、校名、校歌、校章など、今後、決定すべき事項について協議を深め、地域の意向を取りまとめてほしい。 ・旧本荘地域の小学校統合は、学区域の保護者の皆さまが注目している状況です。準備委員会からの意見を踏まえ、地域の意向を取りまとめ、通学の安全対策や校舎の危険防止対策など教育環境の整備に注力してほしい。 	

		分野	教育環境整備部門
項目	(2) 学校施設の整備	担当課	教育総務課
点検・評価対象事業名	学校大規模改修事業及び学校エアコン設置事業		
事業の目的	<p>○「公共施設等総合管理計画」や「学校環境適正化計画」に基づき、築30年以上経過した老朽化の進む校舎等の大規模改修を行い、学校環境の整備に努める。</p> <p>○夏季の猛暑においても、児童生徒が快適な環境で学習できるよう空調設備を設置し、学習環境の整備に努める</p>		
事業の実施状況	<p>○小中学校大規模改修事業</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【実績】平成26年度：大内中学校 平成27年度：大内小学校 平成28年度：西目中学校（H29へ繰越） 平成30年度：由利中学校</p> </div> <p>令和2年度：本荘北中学校大規模改修事業 工事期間 R2.6.10～R3.12.16 契約金額 493,123,400円 契約相手 村岡・長田・塚本 特定建設工事共同企業体 改修概要 屋上防水、外壁改修、トイレ洋式化、建具・床改修、 灯具LED化、FF暖房設置、プール取壊し、 駐車場増設 他</p> <p>○小・中学校エアコン設置事業</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【実績】令和元年度：鶴舞小、尾崎小、子吉小、岩城小、由利小、岩谷小、 大内小、東由利小、西目小、鳥海小の普通教室と 特別支援教室、図書室にエアコンを設置 計118室</p> </div> <p>令和2年度：中学校の普通教室と特別支援教室にエアコンを設置 計93室 新山小、小友小、矢島小にエアコンを設置 計50室 事業費計 233,369,400円 ※工事発注は地域単位で行い地域業者による速やかな設置に配慮</p>		

